

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立 志木第三 小学校 第 6 学年			
項目	成果	課題	改善策
国語	<p>○平均正答率は県・市を上回っている。</p> <p>○教科の領域では話す・「聞く・書く・読む・言語事項」とともに、県や市の平均正答率を上回った。</p> <p>○文脈に即して漢字を使ったり、読んだりする力はある。</p>	<p>○全国学テでは「書く」は良かったが、県学テでは国語の記述式が県より約11%も下回ったので、考えをまとめて書くことを指導し、意図的に書く活動に取り組みさせる必要がある。</p> <p>○文の構成や、修飾と非修飾の関係を理解する力に課題がある。</p> <p>○事実と意見を区別して、資料を基に二段階構成で書くことに課題がある。</p>	<p>○段落構成を考えて書く力をつける。</p> <p>○年間指導計画の見直しをし、系統性を考慮して指導する。</p> <p>○授業以外での書く活動を多く取り入れる。</p> <p>○朝自習、家庭学習の充実を図っている。基礎基本の定着を図る。</p>
算数 数学	<p>○平均正答率は県・市を上回っている。</p> <p>○教科の領域では「数と計算、量と測定、図形」について、県と市を上回った。</p> <p>○数と計算の小数、分数、整数の乗法、除法を求める力は身につけている。</p>	<p>○数量関係の平均正答率が県を約2%下回った。</p> <p>○二つの数量関係を理解し、図に表すこと、百分率の意味や、全体と部分、部分と部分の関係を割合を用いて表すことを苦手としており、無回答率も約2割と低い。</p>	<p>○数量の関係を図や模型などを使って視覚的に正しく捉えさせる。○グラフを読み取り、図に表すことについては、他教科との関連も図りながら、読み取ったりまとめたりする学習を意図的に組んでいく。</p> <p>○百分率などの割合の定着が十分でないことから、年間指導計画で系統性を見直し、重点指導していくなど工夫する。</p>
児童 生徒 質問 紙	<p>○勉強することの意味を理解し、楽しみながら取り組んでいる児童が多い。</p> <p>○わからなかったり、面倒と感じていても最後までやろうとする児童が多い。</p> <p>○自分によいところがあると答えた児童が多く、自己有用感が高い。</p>	<p>○「整理整頓」「話を聞き発表する」「掃除・美化活動」が県や市を下回った。自分の部屋や机のまわりが散らかっていると答えた児童が多く、学校で使うものはきちんと整理されていると答えた児童が少ない。</p>	<p>○整理整頓を日頃から心掛けさせる指導をする。定期的にチェックをし、整頓することの大切さを実感させながら、どうしたら整頓できるのかを具体的に考えさせる。</p> <p>○国語の学習だけでなく、相手の話を聞いて自分の考えをもち、意見や思いを発言・発表する力をつけさせたい。</p> <p>○黙々清掃など掃除の意義を考えながら清掃活動に取り組める環境を清掃部と相談しながら進めていく。</p>

